

2-4-4 社会基盤整備状況

(1) 社会経済調査

ルアンダ州に移動してきた避難民は、ルアンダに住居を持つ親類、知り合いを頼る者もいるが、その他は MINARS、国連機関が管理するキャンプで、あるいは空き地に建てた小屋や建設が打ち切られたり使われなくなったりした建物等で生活している。

避難民の大半は出身地で農業に従事していたため、農地と農具の供与を希望している。また農民の他にも商業従事者、大工、冶金工、電気技師等の技術者、教師等出身地での職業は変化に富んでいる。しかしルアンダ州内に移動してからは安定した現金収入の道を断たれ、農場での労働、マーケットでの荷物運搬等のアルバイトによってわずかな収入を得ているに過ぎない。このために UNHCR や NGO による不定期の食糧配給などの援助に頼らざるを得ず、また極めて高価な生活用水購入費が家計を圧迫しているのが実情である。

ルアンダ市郊外には広大な耕作可能地があり、主食の一つであるキャッサバ、またマンゴー、パパイヤなど果実の栽培が行われている。再定住化地域に移住した避難民は農地(50m×50m~100m×100m)の提供を受けることになっているが、現在は大半が家の新築段階であり、農作物を収穫するに至っていない。

なお、国内避難民キャンプの現況を表-2.4.14 に示す。

(2) 関連インフラ整備状況

2000 年 10 月の閣僚会議で承認された国内避難民再定住化に関する法令に基づき、ルアンダ州政府とその下の行政単位である Município、Comuna が再定住化地域のインフラ整備にあたる。

また、各再定住化地域では住民によりコーディネーターが選ばれ、関係機関との調整、住民をまとめる役割を担っている。

1) 道路状況

ルアンダ州内の道路は 6 本の放射線と不完全な 2 本の環状線により形成されており、道路網は以下のように分類されている。

① Primary Arterial Road (主要幹線道路)

都市活動の拠点間を連結し、または他の都市間を連結し大量の比較的長距離の交通に供する道路。

② Secondary Arterial Road (幹線道路)

主要幹線道路相互を連絡する機能を有する道路で入出制限されていないため、沿線道路施設のアクセスにも利用でき、バス路線としても利用できる。

③ Collector Road (補助幹線道路)

街区や開発地区と幹線道路の間の集散道路としての機能を有する道路であり、バス路線としても利用される。

表-2.4.14 避難民キャンプの状況 (2000年3月復興省人道援助調整技術局のレポートより数ヶ所のキャンプを抜粋)

| キャンプ名 (所在地) | 人口 | | 避難年 主な出身地 | 住居 | 水利用 | 生活の現状 | | | 援助機関 援助の種類 |
|------------------------------------|--|------------------------|--|---|-----------------------------------|---|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| | 総数 | 性別 | | | | 衛生 | 医療 | 教育 | |
| Gika-Moxico (Maianga) | 1572 736 836 | 男性 女性 | 93~94年 Moxico | MINARS, UNICEFが供 与した15のテントあり。 | | ピットラトリン不足。 衛生状態悪い。 | 医薬品不足。マリア、 下痢、結核、疥癬、結核。 | 542人就学期児童のう ち420人は学校に行っ ていない。 | MINARS, UNICEF, JVC(N GO)etc. 教育、古着 |
| K. Kubango (Cacuaco/ Salega) | 337 155 182 | 総数 男性 女性 | 93年9月 K. Kubango | 泥壁の家、帆布とポール 紙で補強。 | 配水管なし。1km離れた ところへ汲みに行く。 | わずかに18のピットラ トリン。状態は悪い。 | 医療、医薬品不足。 | 207人の就学期児童 のうちわずか80人が 通学。 | WFP, CCF, CCG 食糧 |
| Malanje (Viana II) | 2184 899 1285 | 総数 男性 女性 | 99年1月~10 月 Malanje | UNHCR, UNICEF, CDR が供与した207のテント。 | 1日18時間利用される共 同水栓があるので問題な し。 | 10のピットラトリン。1つに 対し約250人。最悪の 状態で、病気の原因に なっている。 | メデイカル・ポスト1ヶ 所のみ。 | 1~4学年に443人通 学。 | MINARS, NGO, 政党, etc. 食糧、古着、教材 |
| Huambo ト・センター (Viana) | 930 172 188 570 | 総数 男性 女性 子ども | 98年12月 Huambo | MINARS, テンマーク難 民評議会が供与した35 の大テント、15の小テン ト。 | 500m離れたところへ水を 汲みに行く。 | 8のピットラトリン。状 態悪く、病気の原因 に。 | メデイカル・ポスト1件あ るが、診療できる状態 ではない。 | | CADE, CCF, FESA, SONA NGOL, etc. 食糧、古着、石鹸 |
| Biétランジツトセン ター (Viana) | 1043 145 329 569 | 総数 男性 女性 子ども | 98年12月 Bié | MINARS, CDRが供与し たテント。 | | 8のピットラトリン。状 態悪く、病気の原因 に。 | マリア、結核、疥癬など。 マリア、結核、咳など。 | 通学している子ども65 人。 | 政府、 CAD, DDF(NGO), etc. 食糧、古着 |
| Bengo センター (Viana) | 225 48 55 152 | 総数 男性 女性 子ども | 92年11月 Rep. D. Congo | 古いテント。各テントに20 人。 | | 8のピットラトリン。状 態悪く、病気の原因 に。 | マリア、結核、咳など。 | 152人の就学期児童 中122人は教育を受け られず。 | MINARS, WFP, FESA, 教 会, etc. |
| Gika / Huambo | 2251 1062 1189 | 総数 男性 女性 | 92年末、93年 初め Huambo | MINARS, UNICEFが供 与した215のテントに居 住。 | | 下水道の汚水があふ れ、病気の原因に。 | メデイカル・ポスト、医 薬品なし。マリア、下 痢、結核。 | | 会社員、販売人もいる。 |
| Cerâmica (Cacuaco) | 231 156 75 | 総数 男性 女性 | 98年12月 Bengo, Huambo Huige, Bié, Labango | 家屋状態悪い。 | 配水管なし。遠い所まで 汲みに行き、高価で購 入。 | ピットラトリンなし。 | メデイカル・ポストなし。 マリア、結核、下痢な ど。 | 32人の就学期児童中 20人が通学。 | INAC 食糧、古着(クリスマス時 期) |
| Congo Democrá tico (Viana) | 3015 34493 2524 2375 29396 | 総数 男性 女性 子ども | 97年 R. D. Congo(旧 ザイール) | 干草、ポール紙で覆われ た泥壁の家。1家屋に平 均12人。 | 配水施設なし。400m離れ た所へ汲みに行く。 | ピットラトリンあり。 | メデイカル・ポストに6名 の看護士。マリア、嘔 吐、下痢。 | 教育を受ける機会な し。 | UNHCR 食糧 |
| Kwanza Norte (Cazenga) | 2006 364 77 39 | 総数 家族 障害者 高齢者 | 95年5月 Benguela, Uíge, Malanje, K. Norte, L. Sul | 廃屋、建設が途中で打ち 切られた家屋。廃軍に住 む。 | 共同水栓あり。 | | メデイカル・ポストなし。 マリア、肝炎など。 | 9490人の学齢期の子 ども全員が公教育を 受けていない。 | PAJOCA, MINARS |
| 3ª Torre da Ciadela (Rangel) | 52000 6414 | 総数 家族 | 97年 Malanje, K. Nor te, L. Norte | 建設が途中で打ち切ら れた建物。危険で住居と しての条件を満たさない。 | 配水施設なし。 | ピットラトリンなし。 | メデイカル・ポストなし。 マリア、はしかなど。 | 5~16歳の子ども、教 材購入費が無く学習 できない。 | |
| Malanjino (K. Kiaki) | 52000 6414 | 総数 家族 | 97年 Malanje, K. Nor te, L. Norte | 高価で水を購入。 | | 状態の良いピットラ トリンはなし。 | メデイカル・ポスト1件あ り。マリア、麻疹、下痢 など。 | 洗濯、その他小規模な仕 事。 | AIFO 医薬品 |

④ Local Street (細街路)

街区や地区内の道路で、沿線へのアクセスが主要な機能で、通過交通には適さない。

以上の道路の現況を概説すると以下の通りである。

① Primary Arterial Road (主要幹線道路)

Benfica 及び Ramiro に向かう放射線 1 号 (E.Corimba)、放射線 2 号(A.21 de Janeiro)、Viena 及び Catete に向かう放射線 3 号(A.Deolinda Rodorrigues)、Cazenga に向かう放射線 4 号(Hoji Ya Henda)、Caunda に向かう放射線 5 号(Ngola Kilanje)、Cacuaco に向かう放射線 6 号(A.Luej Ankonda)があるが、現在リハビリが進み、道路状況はアスファルト舗装されており非常によい。

② Secondary Arterial Road (幹線道路)

主要幹線道路相互を連絡する機能を有する道路で入出制限されていないため、沿線道路施設のアクセスにも利用でき、バス路線としても利用できる。

③ Collector Street (集散路)

この種類の道路は概ね6mから9mの幅員を有している。都心部では舗装されており、路側は駐車場に利用されている例が多い。周辺部の道路は舗装されていない例が多く、降雨時の水路となり、水溜りとなる。

主要幹線道路からの各国内避難民定住地域へのアクセス状況を表-2.4.15 に示す。

表-2.4.15 国内避難民定住地域へのアクセス状況

| 国内避難民定住地名 | 本線からのアクセス | アクセス道路の現況 | 4WDの必要性 |
|-------------------|------------------------------------|---|---------|
| 1. Ramiro | 放射線 1 号に隣接 | 未舗装だが、比較的容易 | × |
| 2. Benfica I | 放射線 1 号から約 2km | 同上 | × |
| 3. Benfica II | 放射線 1 号から約 3km | 未舗装、起伏が激しく、部分的に路盤が抉られた上に厚いシルト土 | ○ |
| 4. Camama | 放射線 3 号から約 4km | 幹線道路より 1km は舗装されているが、残りの約 3km は細かい起伏に富、路盤が抉られている上に厚いシルト | ○ |
| 5. Bitá-Tanqaue | 放射線 3 号から南に約 25km | 未舗装、細かな起伏、路盤が抉られた上に厚いシルト土 | ○ |
| 6. Km45 | 放射線 3 号から Bitá-Tanqaue を経て東方に約 3km | 同上 | ○ |
| 7. Irmãos Coragem | 放射線 3 号から南南東に約 22km | 未舗装、アクセス距離も長く、路面も凹凸あり | ○ |
| 8. Km30 | 放射線 3 号から約 1 km | 未舗装、起伏もなく 4WD 車輛以外でもアクセス可 | × |
| 9. Boa Fé | 放射線 3 号から北方に約 2km | 未舗装、起伏が激しく、路面に厚いシルト土 | ○ |
| 10. Cáopi | 放射線 3 号から北方に約 3km | 同上 | ○ |
| 11. Chendovava | 放射線 6 号から南に約 2km | 未舗装、起伏あり、部分的に路面が抉られた上にシルト土 | ○ |

2) 教育施設

アンゴラの基礎教育は、第1レベル4年、第2レベル2年、第3レベル2年の計8年間であるが、まだ全ての再定住化地域に学校があるわけではない。また、既に学校がある再定住化地域においても、教室、教員、教材不足により全ての子どもが教育を受けられる状態にはない。国連、その他協力機関の援助を受け、現在小学校建設が進められている地域もある。

3) 医療施設

再定住化地域内にはメディカル・ポストが設置され、看護師が診断を行っている。しかしながら、設備と医薬品が不足しているため治療は行えず、住民は看護師が出す処方箋を持って市街地まで薬を買いに行かなければならず、また、重病の場合は市街地の病院へ連れていかなければならない状況にある。州が援助機関と連携し、メディカル・ポストの新設や、全地域での早急な保健衛生教育の実施と同時に、医師の配置、医薬品の定期的供給を充実させることが望まれる。

4) 郵便、通信施設

ルアンダ市と周辺部の主要地区には電話網が敷かれ、郵便局が設置されているが、再定住化地域にはまだこれらの施設はない。

5) 電気

ルアンダ州では EDEL(ルアンダ電力供給会社)が市街地への配電を行っている。また、ENE(国営電力公社)の送電線が地域内、またはすぐ近くを通っている再定住化地域もあるが、まだ住民は電力の供給を受けていない。

2-4-5 給水事情（既存施設の状況）

(1) 上水道備状況（給水施設）EPAL

ルアンダ州内の給水施設は、ルアンダ州水道公社（EPAL）が運営しており、現在の施設及び将来計画は下記の通りである。

1) 現在の浄水施設

| システムの名称 | 処理能力(m ³ /day) | 給水状況 |
|-----------------|---------------------------|-----------------------|
| システム 1 | 60,000 | 35% |
| システム 2 | 138,000 | 100%以下 |
| システム Kikuxi (旧) | 17,200 | 43% |
| ルアンダ南部 | 9,643 | — |
| システム Kikuxi (新) | 43,200 | 試験運転中 (2000年11月完工) |
| 計 | 268,043 | |

(注：2000年11月末現在の合計給水量 176,000(m³/day))

2) 浄水施設の将来計画

- ・システム 1,2 のリハビリテーション工事により処理能力 100%の給水
- ・システム Kikuxi 2002年 160,000(m³/day)
 2005年 216,000(m³/day)

3) 給水区域（図-2.1.2 参照）

稼働中の配水センター

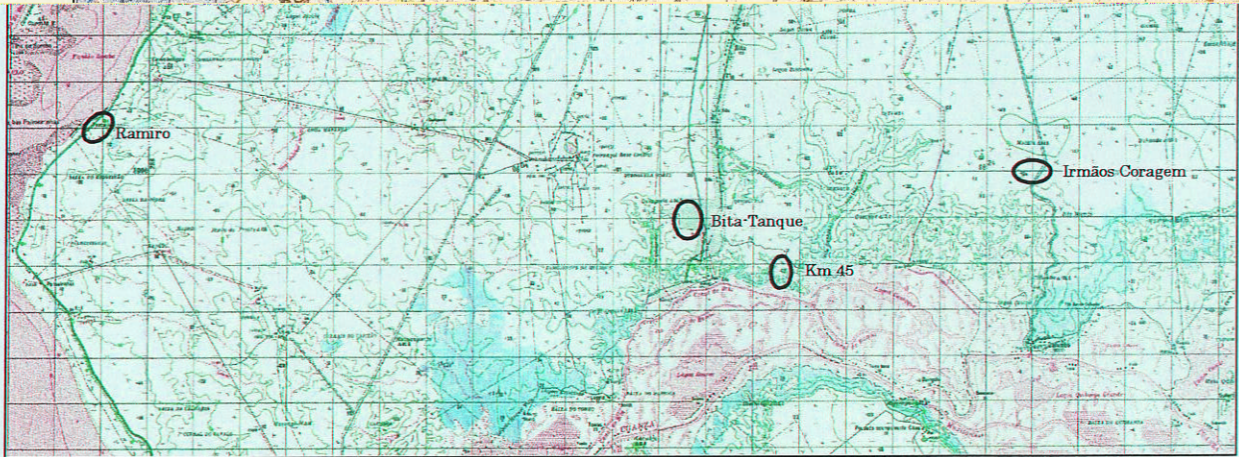
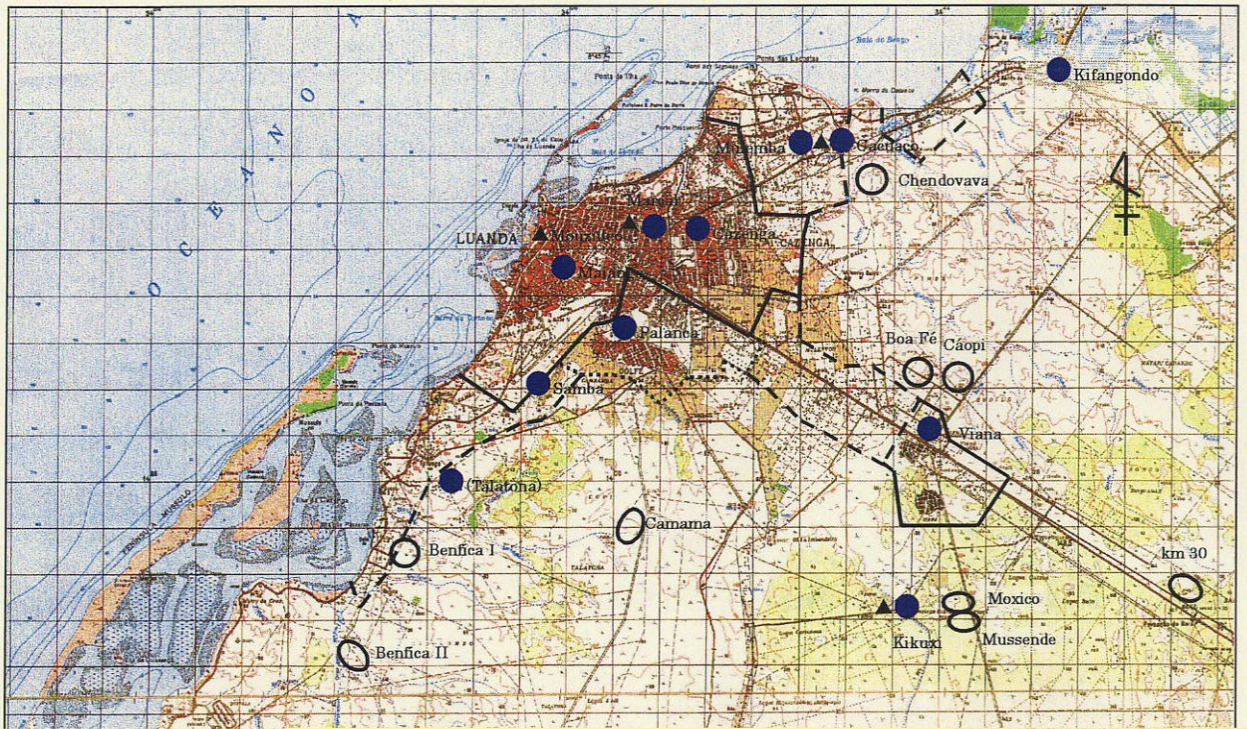
- ・ Cazenga
- ・ Marcal
- ・ Maianga
- ・ Palanca（試験段階）
- ・ Viana

給水されていない配水センター

- ・ Mulemba（施設完成 1984年）
- ・ Cacuo（配管網なし）

将来計画

- ・ Talatona（ルアンダ南部地区対象）



凡例

- 現在の給水エリア
- 2001年11月よりの試験給水エリア
- - - - 2002~5年までに拡張される給水エリア
- 浄水場・配水場
- ▲ 給水施設（ジラファ）

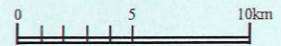


図-2.4.13 ルアンダ州の上水道給水エリア（メッシュ間距離：2km）